

## 2008年3月期 中間決算説明会

以下に当日の質疑応答の要旨を紹介いたします。なお、質疑応答に先立ち、決算説明会の説明より石坂から補足の説明がございましたので、紹介いたします。

### 補足説明

#### <受注高の対前年同期比7億9千万円の減少について。>

SAPを中心にしたERP案件の受注あるいは内示がかなり出てきているという話もあり、この数字にはギャップを感じている。減少の理由としては、これは最近の傾向でもあるが、フェーズごとに契約を締結するケースが非常に増えているのが要因のひとつであり、内示を含めたトータルの契約金額とはギャップが出ている。

### 質疑応答要旨

#### <業績について>

Q．同業他社が好調な中、今回のSCSの中間期決算の結果について、どう考えているか。

A．マクロ的には心配していない。現時点では、体質改善も含めて5年後、10年後に、より社会に貢献できる会社を目指してやっています。

#### <下半期の見通しについて>

Q．上半期の受注高が他社と比べ低いと感じるが、第3四半期の見通しはどうか。

A．第3四半期以降、心配はしていない。

Oracleに関しては、過去Oracle EBSを導入したお客様からのニーズが再度出てきている。また、SAPについても製造業を中心とした海外拠点の拡充等のグローバル展開の案件が出てきている。

Q．金融業向けの第3四半期以降の見通しを教えてください。

A．金融業向けでは、銀行・証券が順調に推移している。

一部銀行向けの案件で、お客様都合により計画より遅れている案件はあるが、その後他の案件も出てきているため、取り返す事は可能であると見ている。

ただ、当社の中長期的戦略上、工数請けから一括請けへシフトしているが、相手との関係もあり想定どおり切り換わっていないところはある。

但し、戦略上のフォーカスとして、工数請けから一括請けへシフトしたく、今後も選別的受注は継続する予定。

Q．販管費に関して、期初予想の240億円を継続した場合、上期の実績107億円に対して下期が132億円になるが、ここまで増加するのか？

A．間接部門の効率化で削減した事務経費1億円及び事業譲渡関連3億円、合計して4億円については、期初の予想の中に入っていないため、基本的に下期には発生しない。他の部分に関して

は、一部使い残す可能性はあるが、会社の将来の為の戦略的投資なので、期初予想については変更しない。

Q . 業務系ソリューションが弱いように見えるが。

A . 現時点での受注残高や仕掛品は増加しており、また、新しい案件へチャレンジもしているため、下期に向けて強くなると想定している。

#### <ERP 関連>

Q . SAP ・ Oracle ・ ProActive の売上高を教えてください。

A . SAP : 38 億円 ( 前年同期 46 億円 ) 、 Oracle : 7 億円 ( 前年同期 5 億円 ) 、 ProActive : 19 億円 ( 前年同期 21 億円 )

Q . ProActive の売上高は予想を下回るのではないかと。

A . 期初の段階では、Gv でも受注しようと考えていたが、E2 のみでの受注戦略に変更したため、当初売上予想の 50 億円には届かず、40 億円台になる。

Q . SAP 及び Oracle のトレンドは下期、加速的に伸びるのか。

A . 下期、加速的に伸びると考える。

トレンドとしては、今上期に比べると今下期の方が、今下期に比べると来期が強いと見ている。

#### <その他>

Q . 短期的には、中長期的戦略を実施しているのは分かる。しかし、中長期的な業績目標を出すべきではないのか。

A . 常に大きなチャレンジをしていかななくてはならないと思っている。

ただ、言ったことは必ず達成するという信念の元、経営を行っている。そのため確固たる自信を持った段階で皆さまへお伝えしたいと思っている。

以 上